



福島放技ニュース

THE NEWS OF THE FUKUSHIMA ASSOCIATION OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGISTS

2021

3月26日号

181
VOL.

発行所 公益社団法人 福島県診療放射線技師会

〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号 TEL/FAX 024(529)7238

ホームページアドレス <http://fart.jp/>

巻頭言

発熱外来受診



副会長 阿部 郁 明

東日本大震災からあと一月余りで10年を迎えようとしていた2月13日23時頃、震度6強と言う10年前の震災を思い出されるような大きな地震が発生しました。

地震により被災されました皆様、心よりお見舞いを申し上げます。我が家は揺れと共に停電となり、またあの時と同じことが起こるのかと嫌な思いが頭をよぎりました。頭の中では水を貯めなきゃ、ガソリンは今日満タンにしたな（たまたまですが）、道路は大丈夫かな（10年前はマンホールの隆起等があって通行に支障があった）などいろいろな事が大きな揺れの中で思い浮かびました。幸いな事に停電は深夜の間に復電し、水道も断水する事はありませんでしたので少し安心しました。

会員の皆さま方も病院等の施設の損壊等で診療に支障を来す様な状況の中で事業を継続するため、様々な努力をされて来たことと思います。10年前の教訓もあってか平常時に戻るまであの時ほど日数を要さなかったように思えます。

さて、ちょうど1年程前の今頃はクルーズ船の船内での新型コロナウイルスの感染拡大が日々大きく報道されていました。その後日本国内でも少しずつ感染が拡大し今現在、第3波と言われている今までで最も大きな波に日本全域が襲われています。この波は重症化リスクが高く、高齢者の割合も増え、クラスターも多様化しています。行政の対策も中々結果に結びつかない状況でしたが一部都府県に2度目の緊急事態宣言が発令され、それ以外の自治体も同じように自粛、飲食店の時短営業等が行われて約1か月が過ぎた辺りから少しずつ陽性者数も病床利用率も改善傾向が見られてきました。宣言解除も間もなくのところまで来ています。

私事です先日、体調不良だったので検温したところ39度程の熱がありました。翌日には平熱に戻りましたが、このような時期、そして病院で働いているという事もあり念のため発熱外来を受診しました。事前に予約を入れて、予約時間に病院の駐車場から電話をし、車内で待機、暫くすると事務の方が来てジップロックの様な袋の口を開け「保険証をここに入れて下さい。感染症対応なので」と言われ、そうだよなと納得しながら指示のとおり、問診票を渡され車内で記載しながら診察待ち、隣の車も同じように車内で待機する人影が見える。発熱外来受診なのだろう。

30分ほど待つと看護師？と思われる方からお呼びがかかり、裏口のようなところから診察室へ、中には1人の医師がいて問診と診察が行われPCR検査を行うためマスクから鼻だけ出し鼻咽頭ぬぐい液を採取され終了。結果は翌日夕方あるいは翌々日になると説明され、陰性の場合は病院から連絡、陽性の場合は保健所からの連絡となりますとの事でした。

結果が出るまでは、もし陽性だったらどうしよう…とか全てがマイナス思考となり不安な時間を過ごしました。翌日の夕方病院から連絡があり陰性との結果にほっとしました。

これからは発熱のたびに受診するようになるのでしょうか。これも新しい生活様式なののでしょうか。

会員の皆さまにおかれましては、私のように発熱した患者さんや新型コロナウイルスの患者さんへの対応等で日々ご苦労されていることと思います。出口の見えないトンネルの様な感じですが長い長いトンネルでも必ず出口がある。そのように希望を持って頑張りましょう。

福島県立医科大学 新医療系学部だより

福島県立医科大学新医療系学部設置準備室 久保 均

皆さま、こんにちは。本原稿を執筆している今は暖かくなったり寒くなったりと、まさしく三寒四温の状況ですが、先生方はお変わりございませんでしょうか？新型コロナウイルス感染拡大はまだまだ収束の兆しは見えませんが、ワクチンの先行接種も開始されて新たな局面を迎えているものと思います。少しずつではありますが、良い方向へ向かっていると信じたいところです。

前回は、4月に開設する保健科学部診療放射線科学科について、少々細かくお知らせしました。今回も、新たな情報も加えながら引き続き状況をお知らせします。

1) 学生募集

前回は、推薦入試についてお伝えしました。本稿執筆を3月初旬で行ってありますが、先週の2月25日、26日で一般選抜前期入試を終えました。志願者ですが、診療放射線科学科（放射線）は募集人員15名のところへ118名の志願をいただきました。他学科は、募集人員24名のところへ理学療法学科（理学）56名、作業療法学科（作業）30名、臨床検査学科（検査）102名となり、志願倍率は理学2.3倍、作業1.3倍、放射線7.9倍、検査4.3倍でした。入学志願者が募集人員の4倍を超えた場合は大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を実施するとの予告を行っていましたが、放射線と検査が4倍を超えたので第1段階選抜を実施しました。その結果、放射線は60名（4倍）を合格とし、検査は96名を合格といたしました。放射線については全国から志願をいただき、国公立の前期日程としてはあり得ないほどの志願倍率となりました。我々としては、多くの方に注目していただいた結果と理解し素直に喜んでおります。実際の第2段階選抜試験を受けずにおよそ半数の不合格者を出さざるを得なかったことについてはとても残念に思っておりますが、我々は学力試験と面接を実施するために物理的に受験者数を制限せざるを得ない状況にあります。ご理解をいただければと思っております。

第2段階選抜においては、放射線は欠席者もなく60名全員が受験してくれました。25日に数学、英語、理科の学力試験を行い、26日に面接を行いました。福島県立医科大学及び診療放射線技師を志願する理由など、多くの受験生がしっかりと自身の意見を述べていたのが印象的でした。

合格発表は3月8日に行い、定員通りの15名を合格といたしました。これで、本学部及び学科の1期生となる25名が決定します。彼らとともに、福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科の新たな歴史を創り出して行きます。

2) 施設および設備

2月13日と14日で新医療系学部設置準備室の教職員は福島駅前キャンパスへ引っ越しをし、15日より駅前キャンパスへ出勤しております。ちょうど13日の深夜に地震が起きたのでどうなるかと思いましたが、とりあえず無事に引っ越しは終了しました。

新築ほやほやの校舎ですが、残念ながら地震の影響が出てしまいました。一部ですが、部屋や階段などの壁に亀裂が入り、クロスなどにひびが入りました。また、新品で入れたばかりの棚やロッカーなどの什器で固定できていなかったものが軒並み倒れてしまい、傷などがついて使用できなくなってしまいました。固定してあったものは全く被害がありませんでしたので、家具など什器の固定の重要性を改めて実感したところです。

現在、什器や設備などを搬入設置している最中です。4月の開設まで、あと1ヶ月ほど続きます。というわけでそれほどきれいな状況ではありませんが、ありのままの写真をいくつかお示しします。それでは、保健科学部バーチャルツアーの開始です。



まずは屋上です。デッキになっており、北側と南側に開放されています。とても気持ちの良いスペースで、学生の憩いの場となることを願っています。花火などの鑑賞ができると良いですね。



学生スタディルームです。
ガラス張りになっており、この部屋は2つに仕切ることができます。まだ椅子は入っていませんが、学生が自由に利用できる自習スペースとなる予定です。8階と7階にあります。



多目的スペースです。
かなり広いスペースで、様々な種類の椅子と机が置かれる予定です。このスペースは、学生が利用するのはもちろん、教員がゼミなど行ったりすることもできるスペースです。8階と7階にあります。



ラウンジです。
新型コロナウイルス感染拡大の影響で従前のような使い方ができるかどうかわかりませんが、学生にはうまく活用していただきたいスペースです。フロア毎に、様々な形で設置されています。

臨床検査学科の実習室の一例です。



理学療法学科の実習室の一例です。



作業療法学科の実習室の一例です。



講義室です。ほとんどの講義室は3階にありますが、一部は他の階にもあります。





ICT室です。2階にあり、コンピュータを用いた授業の他に英語の講義などもここでも行います。



図書室のカウンター部分と、
その中にあるグループ学習ルームです。



1階の玄関を入ったところのエントランスホールから多目的ホールを見たところです。



多目的ホールは最大400名を収容でき、机や椅子は可動式となっています。フラットな床面です。



地下に参りまして、我々診療放射線科学科の実験・実習室のフロアとなります。まずは、診療機器工学実験室です。



次に、放射線管理・計測実験室です。診療機器工学実験室とあまり違いはないように見えますが、これから多くの放射線計測装置などが入ってきます。



放射線治療計画実習室です。
少々狭い部屋ですが、診療放射線技師養成施設としては今までにない数の治療計画装置が入ります。



生理画像検査実習室です。臨床検査学科と一緒に使用しますが、多くの超音波装置と眼底カメラ装置が設置される予定です。右側に並んでいるのが、超音波検査を行うためのベッドです。



ここは、X線撮影室が4部屋並んでいるところの操作室です。手前にあるのは、設置前の棚です。2月13日の地震の余震等が起きた場合に倒壊を避けるために、あらかじめ倒して置いてあります。実習時は、撮影室毎に写真に見える可動式の白い仕切りを引き出すことで操作室を個々の撮影室毎に独立しているように扱うことができますので、グループ毎に集中して実習を行うことが可能です。



ここはX線撮影室1です。天井走行が2台入る予定です。もちろん、F P Dシステムも入る予定です。



ここはX線撮影室2です。天井走行1台と、マンモ装置が入る予定です。



X線透视撮影室です。ここには、多目的の透視撮影装置が入る予定です。



ここはX線C T室です。前回にお知らせしましたとおりの機種が入ります。また、これには放射線治療計画用のレーザーシステムも入れますので、放射線治療計画用C Tを撮影する実習なども実施可能です。



ちょうど機器の搬入設置を行っている関係上乱雑となっておりますが、医療情報実習室です。ここに、医療情報システムのクライアントなどが入ります。また、I C T室と同じ学術情報システムも入ります。



ここは、MR操作室です。多くの椅子が並んでいますが、ここで講義を行うことも可能です。奥のボードが貼ってあるところが操作卓の前の窓となります。まだ工事が始まっておりませんので、MR室への扉も含めて仮設となっています。

以上です。如何でしょうか？まだまだ装置等が入っていないので部屋だけ見てもよくわかりませんが、それでも新しいキャンパスの状況を少しはご覧いただけたかと思います。今回は写真が多いですので、ここまでとさせていただきます。まだ確定ではありませんが、内覧会等を7月頃に実施できるかもしれません。お越しいただける状況になりましたらアナウンスさせていただきますので、是非お越しいただき色々設備などをご覧いただけると嬉しいです。また、研究会や勉強会でもご使用いただくことが可能ですので、ご希望がありましたら遠慮せずに久保までお知らせ下さい。

新医療系学部設置準備室として記事をお送りするのは、今回が最後となります。長きにわたり私どもの記事をご覧いただき、ありがとうございました。4月からは保健科学部診療放射線科学科となります。機会がありましたらこのように情報をお伝えできればと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

～会長 「オンレコ」～

1 「第10回 県技師会定時総会」

令和3年5月29日(土)県北地区で開催予定です。昨年同様に、今回も紙面上決議での開催を行います。また役員改選もありますので、委任状・役員選挙投票用紙の提出を宜しくお願いいたします。

2 「TCRT2021のテーマ」

「雲中蒼天 ～強調、そして融合～」に決めました。東日本大震災や原発事故、今回のCOVID19による世界的な災害・苦難を皆さんで乗り越えて行きましょう、との思いで決めました。チーム医療を継続して、AIやIT、5Gも含めた新技術を融合して新しい医療の未来を作り出しましょう。開催方式も新しい形を模索していますので、楽しみにしてください。

3 「全国会長会議」

1月30日(土)ZoomによるWeb開催にて行い、最初に上田会長から挨拶がありました。その他、要件を記載します。

①タスク・シフト/シェアについては、国会通過が3月の予定です。以前の統一講習会と区別のため、「告示研修」との名称になります。受講料は、会員10,000円で非会員30,000円となります。700分の講義はe-learningで、その他に実技があります。

県内でも研修会をどう行っていくか検討します。来年度は統一講習会受講者から受講が出来ます。会員・非会員に関わらず義務の研修となります。

②第36回JART学術大会(Web開催)は、5,000名の参加があったと報告がありました。参加費1,000円と安かった事もあると思います。

③都道府県会長及び若手会員との懇談会企画

福島県は3月に予定されています。内容や日程は未定ですが、ぜひ参加をお願いします。上田会長に

直接、会費や告示研修についても質問してください。

④新事務所移転について

以前までは浜松町の一等地にあり高額な賃貸料を払っていました。今回は賃貸料を抑えて新事務所に移転(最寄り駅・赤羽橋)します。

4 「JART上田会長とのオンライン交流会」

2月17日(水)18時半より開催しましたが、日程的な余裕がなく4名の参加となりました。JART3名の副会長も参加いただき、地震被害やCOVID19関係、タスク・シフト/シェア、技師の知名度、福島医科大保健科学部等の有意義な話し合いが出来ました。上田会長には、県学術大会の特別講演も引き受けていただき感謝します。技師の知名度UPには、JART・県技師会共に頑張って行こうと考えます。

5 「第2回 東北会長会議」

2月19日(金)19時よりWeb開催を行いました。福島県からはTCRT2021についての説明をして、参加や企画の依頼を行い承認をいただきました。

6 「会費免除の処置」

東日本大震災や台風19号での自宅倒壊や浸水では、会費免除の処置がありました。今回の地震についても、会員の自宅に被害があれば連絡をお願いします。会長とのオンライン交流会でも話題になりました。

7 「県フレッシューズセミナー」

今年度は、2月23日(火・祝)Web開催を行いました。参加してくれた新人は7名でした。講師を務めた堀江理事、樵さん(福島医大附属)、遠藤さん・孔さん(太田西ノ内)、ありがとうございました。

県学術大会

令和2年度 福島県診療放射線技師学術大会 開催

令和3年2月15日～2月28日までYou tubeによるWeb形式で開催されました。

一般公開講演では、「ふくしまで診療放射線技師になる!福島県立医科大学保健科学部診療放射線科学科のご紹介」福島県立医科大学新医療系学部設置準備室久保 均先生からは、診療放射線技師の医療の中での位置づけや業務内容、保健科学部開設までの経緯、診療放射線科学科の特徴、卒業後の進路などをお話いただきました。

会員限定特別講演では、「これからの診療放射線技師像～協働・連携によるチーム医療と診療放射線技師の業務拡大～」(社)日本診療放射線技師会 会長 上田 克彦氏からは、日本診療放射線技師会(JART)の活動や業務拡大の内容を中心に、日本放射線技術学会(JSRT)を始めとする診療線技師関係団体との堅固な協調、JART事業の広報強化、新しい生涯教育システム、新型コロナウイルス感染症への取り組みなどについてお話しいただきました。

診療放射線技師の位置づけを改めて確認でき、有意義な時間となりました。大変貴重なご講演、誠にありがとうございました。

(板橋)

地 区 だ よ り

会 津 地 区

「第102回 会津画像研究会」開催

令和3年3月3日(水)に当研究会では初となるWeb開催にて行われました。

今回は、「各施設のCOVID-19患者への撮影対応」と題し、感染者の受け入れを行っている会津地方の3施設より演題発表がありました。撮影対応時は、个人防护具・手指衛生・アルコールによる環境整備などの

標準予防策に加え、各モダリティにおけるゾーニングが工夫・徹底されていました。会津中央病院からはECMO使用の紹介、竹田総合病院からはCT検査時におけるPET-CT使用の紹介、会津医療センターからはPCR陽性患者の胸部CT検査における異常所見の分類や画像の紹介がありました。

新型コロナウイルス治療の最前線で対応している皆様からの貴重な発表を視聴することができ、皆様からも一日も早い終息を切に願う気持ちが感じられる研究会となりました。



(風間)

県 南 地 区

「令和2年度 県南地区協議会新年勉強会」開催

令和3年1月30日、県技師会初のオンライン(Web形式)での県南地区協議会新年勉強会を開催しました。内容は未だ収束の気配がないCOVID-19に関する話題提供としました。

メーカー話題提供では、富士フィルム富山化学およびコセキ株式会社より、薬剤および製品情報(コセキ株式会社が取り扱う三社の製品)を提供して頂きました。

施設発表では実際にCOVID-19患者を受け入れている県内の4施設に発表をお願いしましたが、会津医療センターおよびいわき市医療センターを選んだ理由と

して、県内の技師会および賛助会員の地区協議会を分け隔てることのない勉強会参加を促すため、またCOVID-19に関する情報共有のため依頼しました。当日は県南地区以外からの参加も多数あり、地区協議会を分け隔てることのない勉強会参加を促すという点では良かったのではと考えます。参加者は63名(会員50名、賛助会員10名、非会員3名)でオンライン開催としてはそれなりの参加者数であったと思います。

アンケートでは、勉強会の内容やオンライン開催に対しての好意的な意見を多くいただきましたが、オンライン開催による問題点もいくつか見え、改善点として対策が必要と考えます。これらを基にしてさらに充実したオンライン開催が行えるよう取り組んでいきたいです。

(石森)

表 彰

「日本診療放射線技師会から片倉俊彦氏に功労賞授与」

令和3年2月15日、片倉俊彦氏に対して公益社団法人日本診療放射線技師会より功労賞が授与されました。通年ですと総会においての授与となりますが、コ

ロナの影響で総会が中止、当県催事での授与とされました。県内においてもコロナの影響で、全ての催事が中止となり、多くの方々を前にしての授与が困難で、元技師長として永年勤められた福島県立医科大学附属病院にて、阿部副会長・遊佐事務局長・本田事務担当出席のもと、阿部副会長より賞状・記念品、本田事務担当から花束が贈られました。

片倉俊彦氏は1989年から1993年まで福島県放射線技

師会理事、1995年から1999年まで社団法人福島県放射線技師会理事として福島県技師会の組織作りに尽力され、1999年から2001年まで社団法人福島県放射線技師会副会長として会長を助け、福島県放射線技師会事業や学術部門での技師の資質向上に努められました。

また2001年からは社団法人福島県診療放射線技師会会長として、放射線技師の認知度をあげると共に、県内放射線技師会会員の学術向上を目的とした研究会、研修会を多数企画されるなど放射線技師会としての組織作り、放射線技術における資質向上のために尽力され、今回の功労賞受賞となりました。

片倉俊彦氏はCT研究に特に力を注がれ、ヘリカルの技術を確立され、全国的にも知名度をあげられ関連する研究発表や論文は数多く、現在も若い技師達と研究を続けておられます。また2006年から2010年まで公益社団法人日本診療放射線技師会理事、2010年から

2012年までは常務理事を務める等、全国の診療放射線技師の職業倫理高揚、診療放射線技師の資質向上に尽力されました。これからも研究に励まれ、若い技師と共に活躍される事を願います。今回の功労賞受賞、誠にありがとうございます。



表彰状授与

(事務局 遊佐)

お知らせ

技師会会費納入期限を過ぎた場合の対処法について

《公社》福島県診療放射線技師会の会費納入期限は、毎年9月30日までです。

新年度には皆様に会費納入の払込書が届けられますので、それを利用して払い込んで下さい。

さい、9月30日を過ぎると、払込書では会費納入が出来ません。

必ず、9月30日までに払込をお願いします。

払込期限を過ぎてしまった場合、払込用紙の再発行は行いませんので、振込手数料

料を御負担の上、下記より直接振り込んで下さい。

※ 新年度の振込期限日前には対応致しませんのでご注意ください！

振込先：東邦銀行 福島区大宮支店

口座番号：普通口座33081

払込先：《公社》福島県診療放射線技師会

振込後、技師会（office@art.jp）にメールにて会員番号・氏名・勤務先・払込分年

度をお知らせください。

事務局

告示

公益社団法人福島県診療放射線技師会定款第23条及び役員選出規程に基づき、令和3～令和4年度役員の立候補受付及び選挙を下記により行う。

記

1. 役員の定数
理事 14名以上17名以内（会長・副会長候補者を含む）
監事 2名（内1名は会員以外）
2. 立候補、推薦候補届出受付開始日及び締切日
令和3年4月1日より令和3年5月7日正午まで
3. 届出の方法
立候補届を選挙管理委員会に提出する。
4. 届出先
〒960-8157 福島市蓬萊町七丁目13番5号
公益社団法人福島県診療放射線技師会
選挙管理委員会
5. 投票日
令和3年5月29日 第10回（令和3年度）定時総会

以上告示します。

令和3年3月1日

公益社団法人福島県診療放射線技師会選挙管理委員会
委員長 田代雅実

会告

定款第14条に基づき下記の定時総会を開催いたします。

記

第10回（令和3年度）

公益社団法人福島県診療放射線技師会定時総会

令和3年5月29日(土)

※新型コロナウイルス感染拡大による集会等の自粛要請を考慮し、開催方法などは別途通知致します。

以上

編集後記

あれから10年を目前にして再びの大地震、大変驚きフラッシュバックも起き涙が流れました。前回より被害は少ないとはいえ心の傷は大きくなりました。大地震とも共存していかないといけないのか!?と怒りのようなものが沸々と。さらに1年経つても未だ収束の気配が見えない新型コロナウイルス。県内では、飲食店などの時短営業や不要不急の外出自粛要請は解除され、通常営業の店舗も多くあちこちにお邪魔できるようになりましたが、コロナを気にせず友人や仲間と出かける時はいつになるのでしょうか。皆様に1日も早く心休まる日が訪れますように。（板橋）